

【佐世保サポステ】

「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」に関する取組状況【第2ステージ】

取組年度	令和5年度	
支援対象者	(2) 長期にわたり無業の状態にある方	
目標	第1ステージの結果を踏まえて、就業を希望しながら様々な事情により長期にわたり無業の状態にある方については、本人や家族の希望に応じた職場体験等を実施することにより、職業的自立支援につなげることを目標とする	
K P I 項目		目標値
第2ステージ	サポステ等による職場体験等先の確保数	30件
	職場体験等の実施件数	16件
	サポステとハローワークとの連携体制の強化（意見交換等の実施回数）	各年度4回 (長崎・佐世保で各年度2回)

【令和5年度取組状況等】

令和5年度の佐世保サポステでは、ハローワークとの連携を強化し就職氷河期世代のうち長く無業者の方々それぞれに合わせた支援を図っていくように考えています。壱岐、対馬の駐在スタッフとの連携に関して離島スタッフ間の研修、ケース会議をオンラインにて実施し、困難なケースの共有を積極的に行っています。壱岐、対馬においては駐在スタッフが1名体制のため、1人でケースを抱え込むのではなく、佐世スタッフとスタッフ間で共有し様々な意見交換が出来る機会を確保しています。対馬の利用者に対しては、要請によりオンラインにて模擬面接を実施し継続して定着支援を行っています。

今年度になって氷河期世代登録者のグループワークの参加者は、増加傾向にあります。他の参加者より年齢層が高いことからグループワークにおいてのリーダーシップや自主性を促す環境づくりを意識しています。また、コミュニケーションに対し苦手意識が強い人向けのグループワークから、就活に近い実践的グループワークへの参加、そして応募書類作成という徐々にステップアップする流れを作り、自信を持って就活につなげる取り組みを行っています。具体的には、毎月「目標設定シート」を使用し、1、3、6か月後の目標設定をするとともに現在の困り感を丁寧にヒアリングし、共有することで自分の現在の課題は、何なのか、今後どう行動するあるかを可視化させ、更なる就職者数の増加につながるように努め強化していきます。

現在、県北地域においてハローワーク、地域包括支援センターと連携して氷河期世代の方、80、50世代の親世代の家族を含めて包括的連携して役割分担を行って就労に向けて支援を行っています。県北地域の2次離島の地域住民の利用者に対してパソコン基礎、模擬面接等、面談を実施し就労に向けて支援を継続的に実施しています。

<巡回相談会>

江迎町12回、川棚町12回、波佐見町4回、壱岐市24回、対馬市21回を計画、実施しています。利用者に対して寄り添った対応を実施しています。必要に応じてご利用いただけたらと存じます。

K P I 項目	実績累計	進捗率
サポステ等による職場体験等先の確保数	43件	143.3%
職場体験等の実施件数	44件	275.0%
サポステとハローワークとの連携体制の強化（意見交換等の実施回数）	1回	12.5%

※令和5年11月末時点の実績（令和5年度累積）

【参考】令和5年5月末時点実績

サポステ等による職場体験等先の確保数	9件	30.0%
職場体験等の実施件数	10件	62.5%
サポステとハローワークとの連携体制の強化（意見交換等の実施回数）	0回	0.0%